

社会福祉施設向け感染症講習会 (Web)

保育施設での感染性胃腸炎 集団発生事例から

2025年10月17日 (金) 14時00分～

10月27日 (月) 13時30分～

10月28日 (火) 13時30分～

福岡市保健所 感染症対策課



はじめに

- 社会福祉施設等は、感染症や食中毒が疑われる場合には、保健所に報告することが求められています。

(平成17年2月22日、厚生労働省通知)

社会福祉施設等における感染症発生時に係る報告について

- ア 同一の感染症若しくは食中毒による死亡者又は重篤患者が1週間以内に2名以上（疑い含む）
- イ 同一の感染症若しくは食中毒による患者が10名以上又は定員の半数以上（疑い含む）
- ウ ア及びイに該当しない場合であっても、通常を上回る感染症の発生が疑われるとき

保健所へ
報告を！

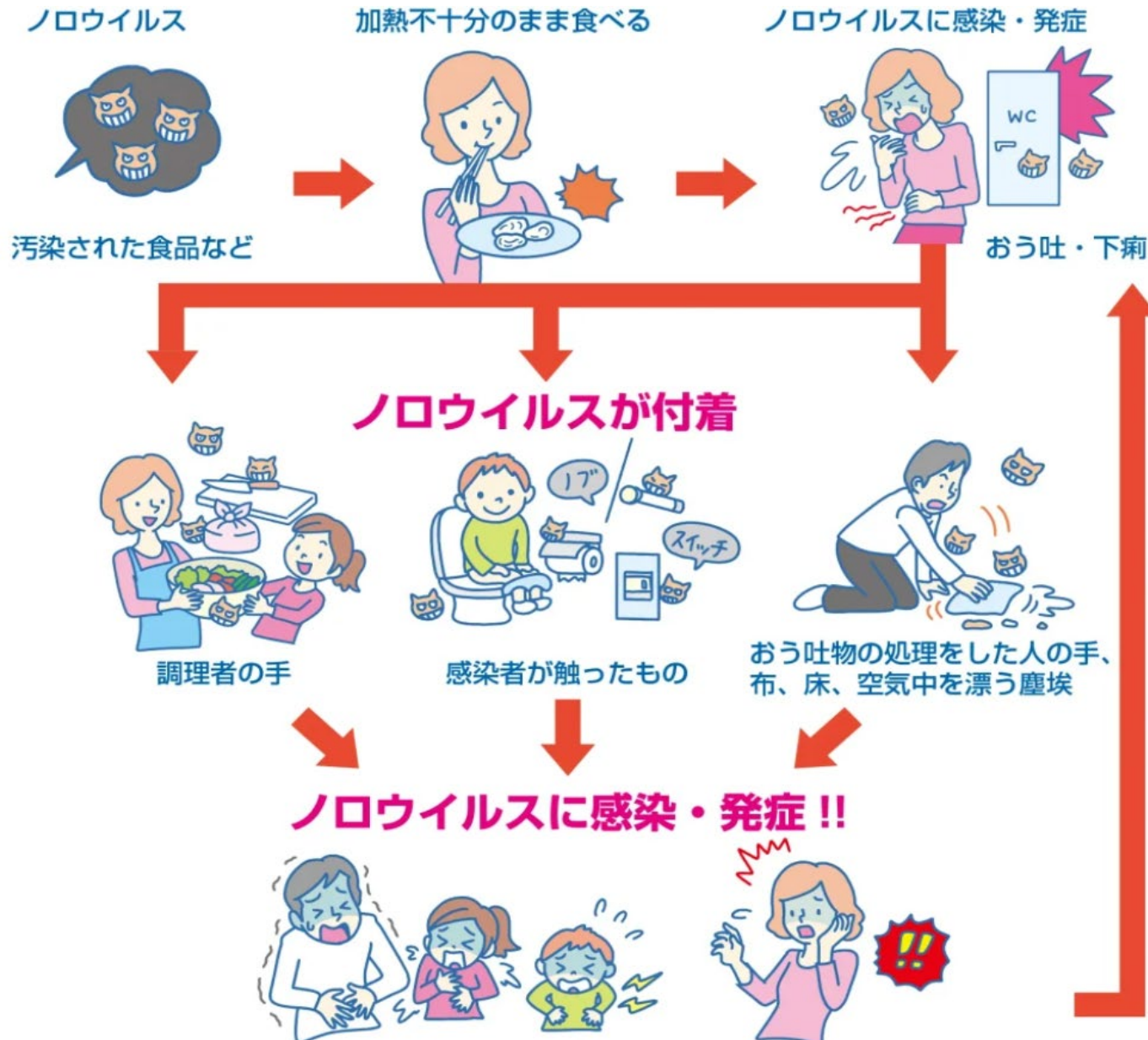


もくじ

1. 保育施設で発生したノロウイルス集団感染事例①
2. 保育施設で発生したノロウイルス集団感染事例②
3. まとめ・保健所からのお願い

※事例①と事例②について、施設が特定されないよう、施設概要や患者発生状況の設定等を改変しています。

ノロウイルスの感染経路



汚染された食品以外にも

- ・ 手
 - ・ 手が触れる場所
 - ・ 嘔吐後の環境
- から感染

- ・ 手洗い
 - ・ 環境消毒
- 重要！

社会福祉施設の場合、オムツ交換後の手、環境（オムツ交換台等）も要注意！！

1. 保育施設で発生したノロウイルス集団感染事例①

訪問までの経緯

- 5月20日、A保育園より連絡あり。

「0歳児と1歳児の園児2名がノロウイルスの診断を受けた。

他の園児で症状出ている者はいない。」

→電話にて必要な感染対策を伝えた。



- 5月26日午後、保育園より追加の連絡あり。

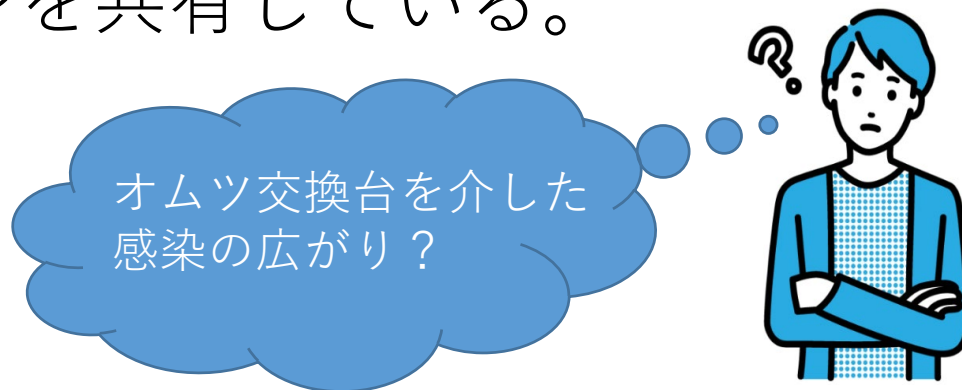
「0、1歳児中心で感染が広がっており、有症者が10名を超えた。」

- 症状がある園児、職員のリストアップ
 - 見取り図の準備
 - 5月27日午前から現地調査する方針とした。
- } 園へ依頼

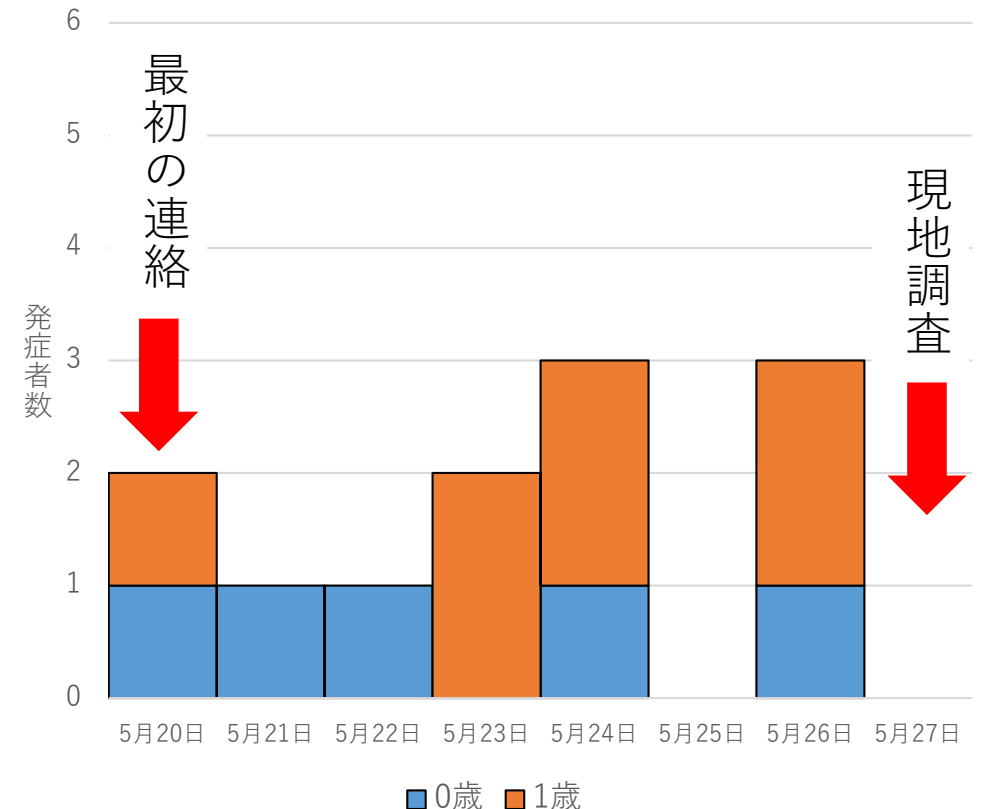


1. 事例① A保育園の概要

- 3階建て
- 0～5歳児の園児が約300名在籍
- クラスは学年別
- 0歳クラスと1歳クラスはトイレを共有している。

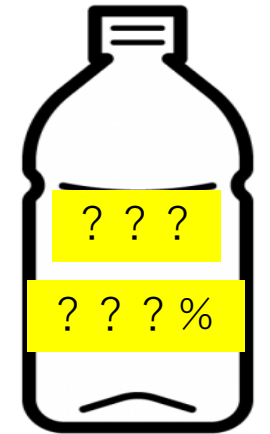
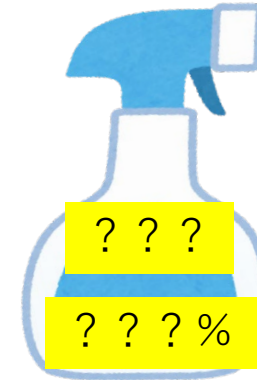


患者発生状況



1. 事例① 現地調査 ～消毒薬～

- 聞き取りによると
「0.02%（環境消毒用）と0.1%（吐物処理用）の
次亜塩素酸Naを使用しています」
とのこと



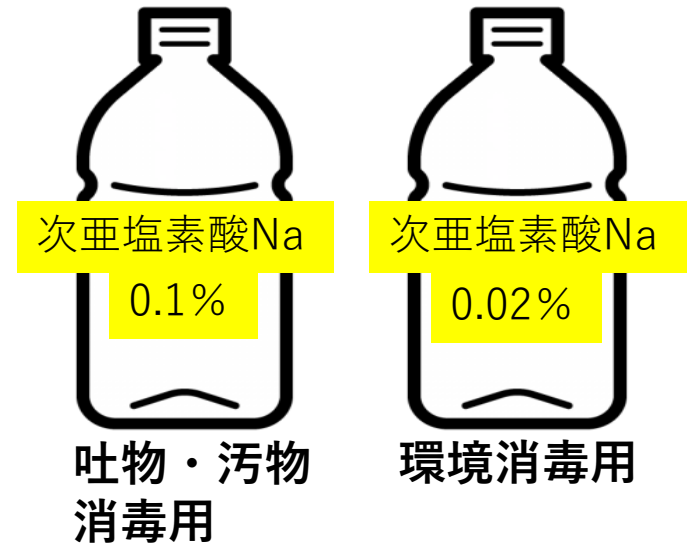
- 実際に確認してみると、
 - 希釈前ボトルがかなり劣化しており、
何の薬剤かぱっと見で分からない
 - 希釈後ボトルに何の表記もない
 - いつ希釈（作成）したのか分からない
 - 霧吹きタイプのボトルで1噴射→布巾で拭き上げ



1 噴射
→拭き上げ

1. 事例① 指導事項 ～消毒薬～

- 劣化が進んでいるボトルは買い替えること
- 希釈前ボトルには開封日を記入すること
- 希釈後ボトルには薬剤名と濃度を表記すること
- 保管は直射日光が当たらない、園児の届かない場所にすること
- いつ作成したのか分かるように管理すること
(作成頻度は毎日が望ましい)
- 次亜塩素酸Naで浸した布巾やペーパータオルで拭き上げを！



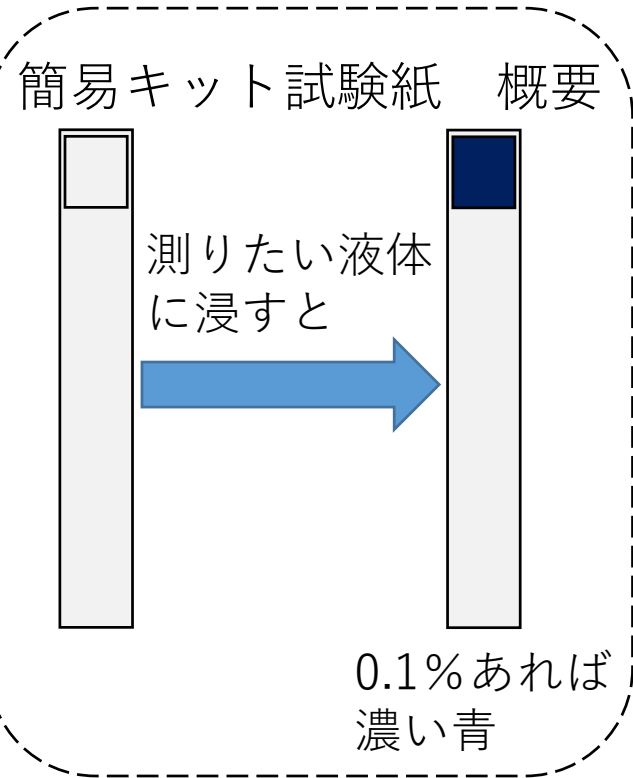
1. 事例① 次亜塩素酸Na 濃度測定

- 次亜塩素酸Na0.1%を現地で作成いただき簡易キットで濃度測定してみると・・・

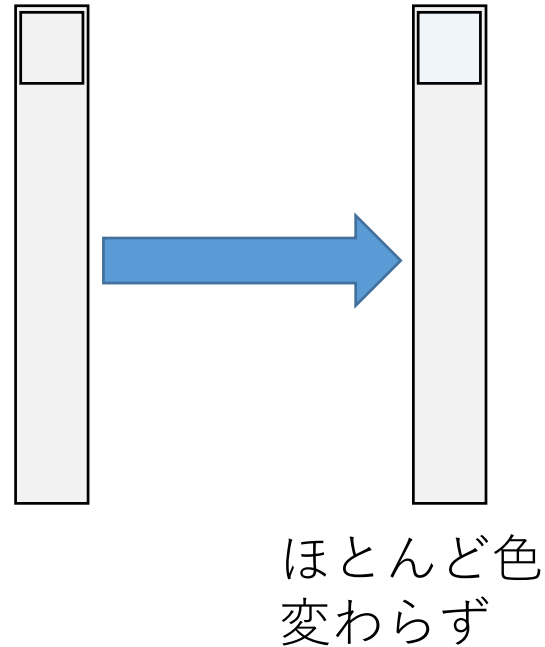
参照元：花王株式会社ホームページ

「ハイター」と「キッチンハイター」の希釈の目安

(直射日光にあたる場所や高温での保管をしていない場合)



現地での測定



	0.02%(200ppm)以上*
生産時の濃度6%の場合	水3リットルに キャップ約0.4杯 (10ml)
購入から3ヶ月以内	水3リットルに キャップ約1/2杯 (12ml)
購入から1年以内	水3リットルに キャップ約0.7杯 (18ml)
購入から3年以内	水3リットルに キャップ約1.2杯 (30ml)

(キャップ1杯は約25ml)

このキャップ

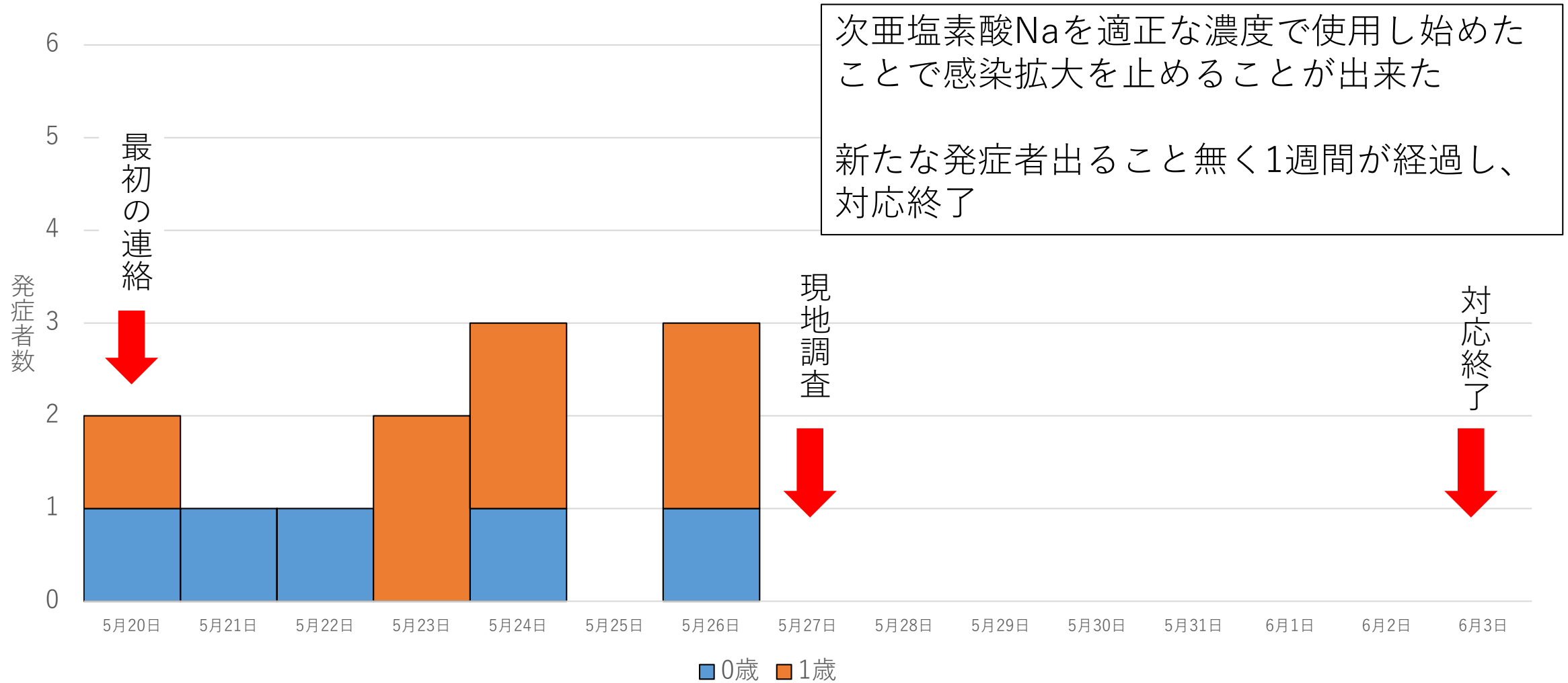


→ ほぼ水で消毒を行っていた！？
新しい次亜塩素酸Naを使用するよう助言

常温で保管していても徐々に濃度が低下します！

1. 事例①

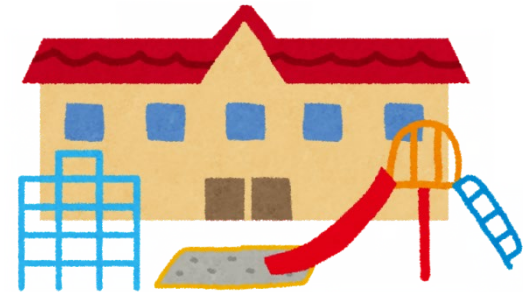
患者発生状況 その後



2. 保育施設で発生したノロウイルス集団感染事例②

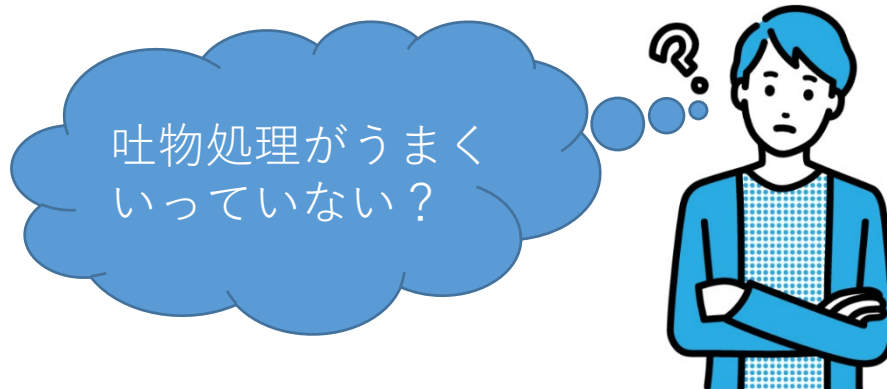
訪問までの経緯

- 5月27日午後、B保育園より連絡あり。
「胃腸炎症状の園児・生徒が合わせて10名を超えた。
5月23日合同保育の部屋で複数回嘔吐した園児がおり、
5月24日に新たに6人発症している」
 - 症状がある園児、職員のリストアップ
 - 見取り図の準備
 - 合同保育の状況確認
- } 園へ依頼
- 5月28日午後から現地調査する方針とした。

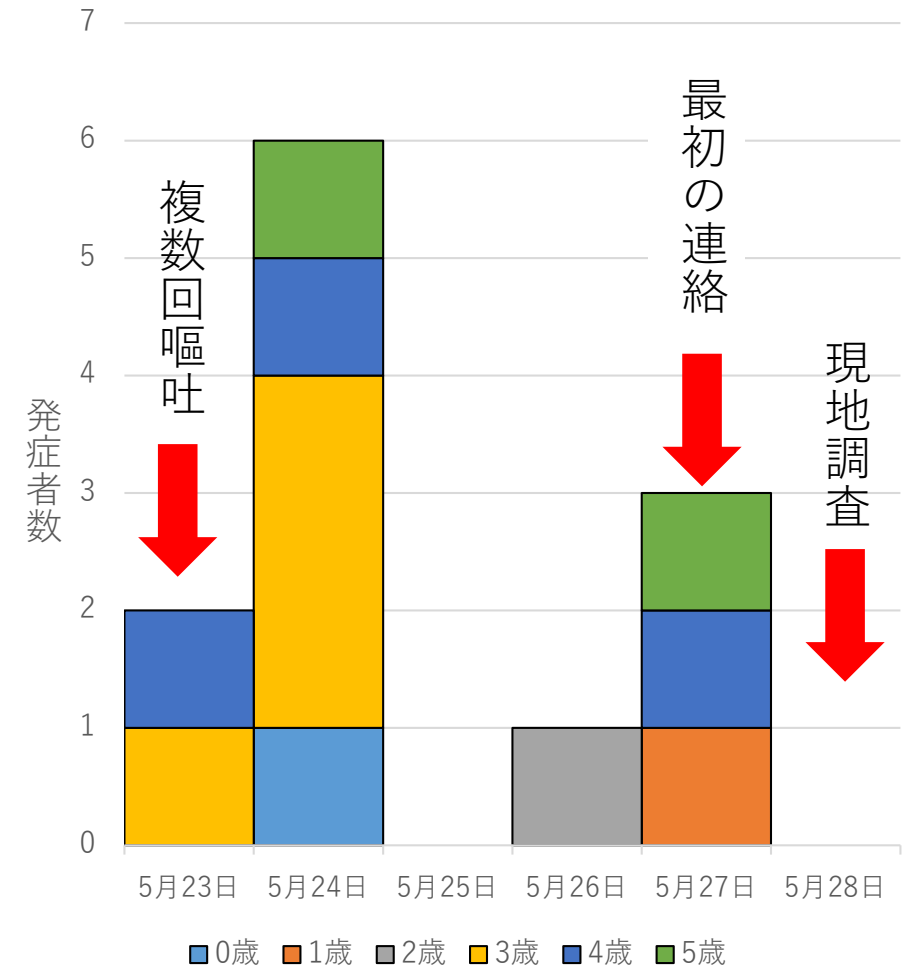


2. 事例② B保育園の概要

- 2階建て
- 0～5歳児の園児が約200名在籍
- クラスは学年別
- 3～5歳児が合同保育を行っている



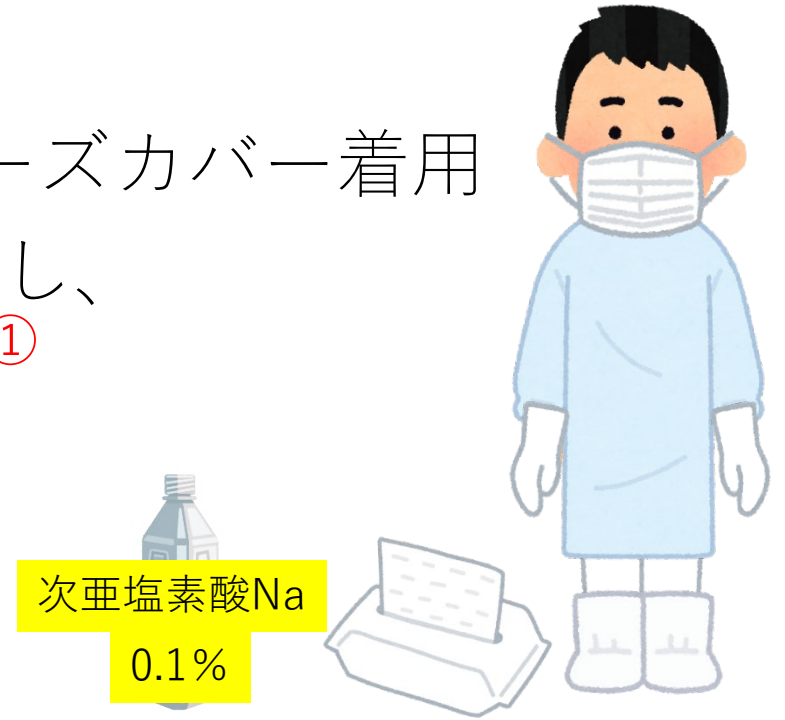
事例② 患者発生状況



2. 事例② 現地調査 ～吐物処理～

- 聞き取りによると、
「マスク、ビニールエプロン、ゴム手袋、シューズカバー着用
ペーパータオル、0.1%次亜塩素酸Na500ml使用し、
吐物のついていた範囲を消毒している」^①
^②

- 実際に吐物処理現場を確認すると、、、
 - シューズカバーを着用したまま移動^③
 - 消毒時、吐物が付いていた床に膝やエプロンが接触^④



2. 事例② 指導事項 ～吐物処理～



2. 手洗い

ゴム手袋をしているからと、吐物処理後やオムツ交換後の手洗いを疎かにしていませんか？

- ・ 手袋を外すときに汚染するリスク
- ・ 作業中に穴が空くリスク
- ・ 最初から穴が空いているリスク

※検査・健診用手袋では、ピンホール（穴）が4.2%以下で生産することを求めている基準がある



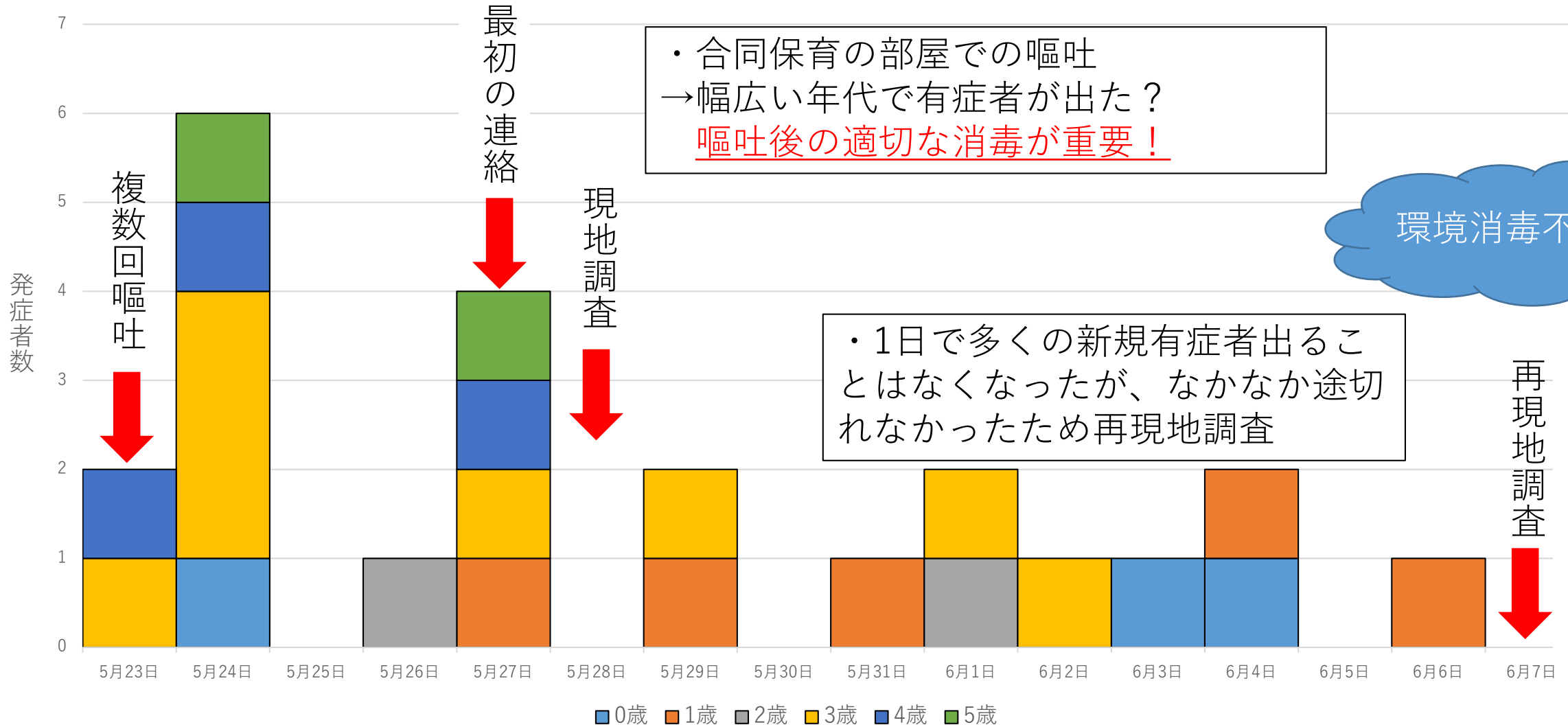
蛍光塗料を用いて手袋とガウンを外してみた

手袋は手洗いの代わりになりません！

手袋を外した後は、流水と石鹼でしっかりと手洗いをしましょう

2. 事例②

患者発生状況 その後



2. 事例② ふき取り検査

環境消毒が出来ているかを確認するために・・・



ATPふき取り検査
(ATPを汚れの指標とした検査) を実施

ATP(アデノシン三リン酸)とは
地球上のあらゆる生き物がエネルギーの元として
持っている物質で、菌などの微生物、肉、魚、野菜
などの食べ物、人の汗、唾液などの体液といった、
生き物を含む多くの有機物に含まれている物質。

このふき取り検査で
何がわかるのかと言うと・・・

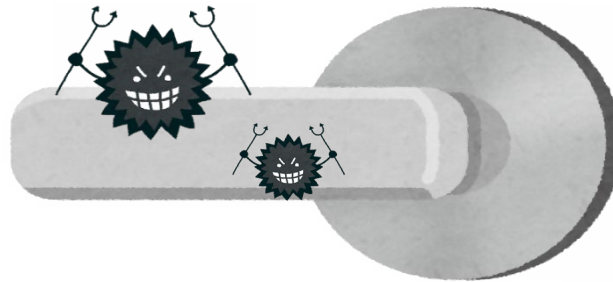
2. 事例② ふき取り検査

机やドアノブ、手のひらなどの
汚れを見える化（数値化）できる

食事や遊びなどで使う机
の表面の汚れや・・・



みんなが使うドアノブ
などについての汚れ



手のひらの汚れ



2. 事例② ふき取り検査

園児がよく手をつく机の表面
を検査してみると・・・

305,262 RLU



いつも通り机を
拭き上げ

20,847 RLU



力を入れて
拭き上げ

3,156 RLU



推奨基準値（参照元：キッコーマン株式会社ホームページ）

- 平滑なもの（ステンレスやガラスなど）：200RLU以下
- 凹凸のあるもの、傷つきやすいもの（樹脂製品など）：500RLU以下
- 手指：2,000RLU以下

RLU：ATPと試薬の反応によって発行する光の量を表す単位。
数値が高いほど生物由来の汚れが多い。

手洗いの強化に加え、
環境消毒の強化を園へ依頼

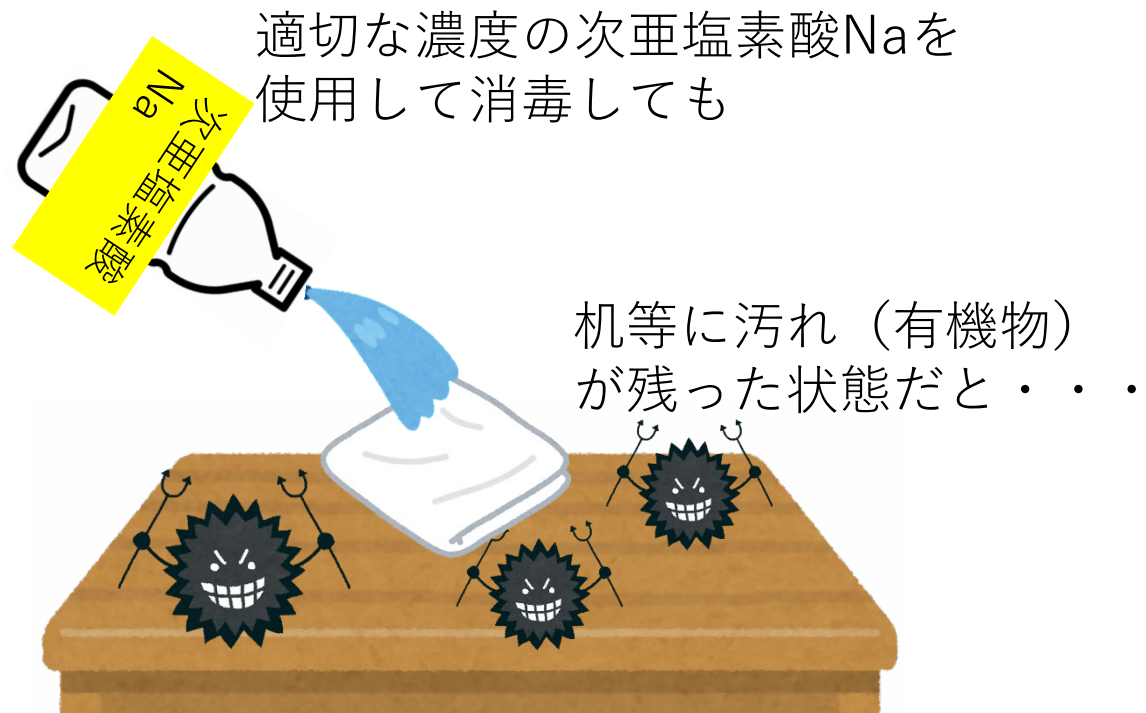
→感染終息

2. 事例② ふき取り検査

机の表面

305,262 RLU 推奨基準値：500RLU以下

なぜ値が大きい（汚れている）
とまずいのか？



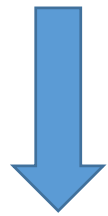
殺菌力の元である有効塩素が
有機物と反応してしまい、
殺菌力が低下
→適切な消毒ができない

2. ふき取り検査 その他事例

ATPふき取り検査 他の園ではこんな事例も・・・

①消毒前の机を検査

9,998 RLU 推奨基準値：500RLU以下

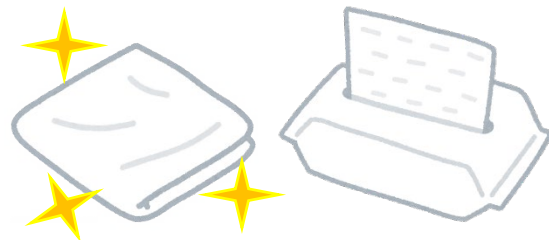


布巾を用いて消毒

202,077 RLU

消毒したつもりが逆に汚していた！？

拭き上げに使用する布巾等の管理が大切！



②職員の手のひらを検査

10,519 RLU 推奨基準値：2,000RLU以下



いつも通り手洗いしてもらおうと

6,120 RLU



念入りに手洗いしてもらおうと

242 RLU

洗ったつもりになっていませんか！？



3 まとめ・保健所からのお願い

- ノロウイルス等による感染性胃腸炎の対策で大切なのは
 - ①流水と石鹼でしっかり手洗い
 - ②次亜塩素酸**Na**による適切な方法での消毒
- 胃腸炎症状の園児や入所（通所）者が増え始めたら、早めに相談を
- 慣例的に行っていることで、疑問が生じた場合には、遠慮なく福岡市保健所までご相談いただければ幸いです。